



令和2年10月2日

教育相談だより

第8号

大村高校 定時制

保健・教育相談部

「学習内容を覚えられない」という人に



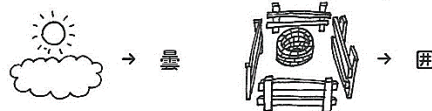
もうすぐ2学期の中間考査が実施されますが、文字の読み書きや計算が苦手で、テストに不安を感じている人もいます。そのような人は、以下の学習方法を試してみてください。

1. 漢字の書き取り

記憶の仕方は、人によって異なります。たとえば、たくさんの四字熟語を聞いて知っていても、漢字で書くとよく間違える人は、聞いた方が覚えやすいタイプだと言えます。一方、マンガのキャラクターを、手本も見ないでそっくりそのまま描ける人は、見た方が覚えやすいタイプだと言えるでしょう。

(1) 見て覚えるのが得意な人

漢字を分解し、絵で表して、イメージを記憶しましょう。



(2) 聞いて覚えるのが得意な人

漢字を分解し、言葉に置きかえて口ずさんでみましょう。

(例) 親 → 「立+木+見」 → 「木の上で立って見ている『親』」
「爪」と「瓜」の区別 → 「爪につめなし、瓜につめあり」

また、書く順序を口ずさむやり方もあります。

(例) 「業」 → 「たて/たて/ちよん/ちよん、よこ/ちよん/ちよん、よこ/よこ/よこ/たて、ひだり/みぎ」



(3) 意味づけ

意味づけは、漢字がもともと持っている意味を使った学習方法で、部首ごとに漢字の意味を考えながら覚えていくやり方です。

(例) 「月(にくづき)」 → 体に関係のある漢字 → 脳・肢・背・脚・脇・肥など
「魚(さかなへん)」 → 弱・鯖・鱈 → 弱い魚は弱、青い魚は鯖、春に
おいしいのは鱈、など

(4) エピソード記憶の活用

エピソード記憶は、旅行や誕生日など、体験したことの記憶で、喜びや楽しさなどの強い感情がともなうと、強く残るものです。自分が好きなものを題材にして覚えると、楽しい経験として記憶に残りやすくなります。

(例) 電車が好きな人→駅名を題材にして漢字を覚える

2. 算数・数学 (かけ算の九九や数式)

九九などは一度にたくさん覚えようとはせず、1週間に一つの段だけ覚えるようにします。(例)

$$\begin{array}{cccccccc} 3 & 3 & 3 & 3 & 3 & 3 & 3 & \\ \times 1 & \times 2 & \times 3 & \times 4 & \times 5 & \times 6 & \times 7 & \dots \text{など} \end{array}$$

その段だけに集中し、しっかりマスターしてから、次に進みましょう。

また、数式が覚えられないときは、音楽に合わせて覚えるようにします。歌にして自分で録音するやり方もありますが、最近はCDになったものも出ています。

(例) みんなの歌「算数チャチャチャ」(歌: ペギー葉山)

サインθ(シータ)がコサインのチャチャ/ルートの3倍チャチャチャ/
算数チャチャチャで解きましょう/それほらもうできたチャチャチャ/
サインを割ることコサインはチャチャ/タンゼントのことさチャチャチャ/
2辺がー対ルート3チャチャ/斜辺が2となるね/
サインは2分のルートの3で/コサイン0.5/チャチャチャ

(例) 『MISIC STUDY PROJECT ボカロで覚える 中学数学』(学研プラス)

3. その他の科目

(1) 文章全部ではなく、重要な言葉だけを選ぶ

(例) 地理の分野「米 生産量 中国」

(2) 覚えたいことがらの最初の文字だけを合わせて言葉を作る

(例) 鎌倉時代の仏教「浄土宗・浄土真宗・時宗・日蓮宗・臨済宗・曹洞宗」
→「浄・浄・時・日・臨・曹(ジョウ・ジョウ・ジ・ニチ・リン・ソウ)」

(3) 勉強した内容を「絵」のイメージにする

イメージが頭の中に残っていれば、思い出したいときの手がかりになります。

【参考】『いろんな学び方、あるんだね!』(東京書籍)など

例: 海王星は、太陽からもっとも遠くにある惑星です。

